

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東京電子専門学校
設置者名	学校法人 電波学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	情報処理科システム運用コース		480 時間	80 時間×2 =160 時間	
	情報処理科システム開発コース		840 時間	80 時間×2 =160 時間	
	情報処理科3年制		1,260 時間	80 時間×3 =240 時間	
	ウェブ・メディア科 ゲームソフトコース		780 時間	80 時間×2 =160 時間	
	ウェブ・メディア科 ウェブデザインコース		840 時間	80 時間×2 =160 時間	
	高度情報システム科		2,490 時間	80 時間×4 =320 時間	
	セキュリティ・ネットワーク科		690 時間	80 時間×3 =240 時間	
	電子技術科		510 時間	80 時間×2 =160 時間	
	電気工学科		840 時間	80 時間×2 =160 時間	
医療専門課程	診療放射線学科		1,200 時間	80 時間×3 =240 時間	
	臨床検査学科		915 時間	80 時間×3 =240 時間	
	臨床工学科		1,095 時間	80 時間×3 =240 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校HPにて公開： https://www.tokyo-ec.ac.jp/campus/data/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京電子専門学校
設置者名	学校法人 電波学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校HPにて公開：<https://www.tokyo-ec.ac.jp/campus/data/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	セントラル法律事務所 弁護士	2020.04.01 ～ 2024.03.31	法的観点によるさら なる教育活動の促進
非常勤	F P オフィスノーサイド 代表 C F P 一級 F P 技能士	2020.04.01 ～ 2024.03.31	教職員及び学生のF P 的観点によるさら なる教育活動の促進
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京電子専門学校
設置者名	学校法人電波学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画書の作成について 授業科目については毎年度、各学科における学科会議等により、より時代に合った適切なものとなるように検討をし、併せて文部科学省や厚生労働省等の指針などにも適合するように作成している。 ・公表について 具体的な授業計画(シラバス)については学年度開始に合わせてHPに公表している 	
授業計画書の公表方法	学校HPにて公開： https://www.tokyo-ec.ac.jp/campus/data/

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学則及び毎年度開始時に全学生に配布しているキャンパスガイドにおいて規定し、当該規定より各学生の学修成果に対して厳格な評価を実施している。

学則より抜粋

第19条 (取得単位の認定)

各授業科目の取得単位の認定は、試験により行う。ただし、平素の成績または論文をもって試験に代えることができる。

第22条 (進級および卒業不適格)

所定の科目単位を取得できなかった者、または各学年内において所定の授業総時間数の3分の1以上欠席した者は、進級または卒業することができない。

キャンパスガイドから抜粋

・欠席について

学問は、毎日の積み重ねが重要であり、2～3回講義を欠席するとその後の授業についていけないの現実です。出席が講義回数の規定回数に達しない場合は原則としてその科目の試験は受けられず、単位も与えられないことになっています。

・試験

試験は、中間試験、学期末試験および臨時試験に分けて行います。中間試験は、授業の進度に応じて行い、学期末試験は各学期末に行います。ただ、科目によっては学期内に何回か試験が行われ、それらを総合して成績が評価されるものもあります。演習・実習や実験は毎日の出席や実験のレポート等が試験に代わるものになります。

・成績評価

成績は100点を最高とし、各試験ともに60点を及第点とします。これを評価基準により「A」「B」「C」で表します。

・成績評価基準

A・・・100～80

B・・・79～70

C・・・69～60

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>キャンパスガイドにおいて、学業の達成度を客観的に評価するための指標として以下の成績評価基準を規定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価 <p>成績は100点を最高とし、各試験ともに60点を及第点とします。これを評価基準により「A」「B」「C」で表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価基準 <p>A・・・100～80 B・・・79～70 C・・・69～60</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客観的指標 <p>履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する（100点満点で点数化）</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学校HPにて公開： https://www.tokyo-ec.ac.jp/campus/data/</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業要件については学則に以下の記載がある。</p> <p>第22条（進級および卒業不適格）</p> <p>所定の科目単位を取得できなかった者、または各学年内において所定の授業総時間数の3分の1以上欠席した者は、進級または卒業することができない。</p> <p>また、各学科毎に内規として卒業認定規定が存在する場合は、それを各学生へ入学時に資料を配布している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>学校HPにて公開： https://www.tokyo-ec.ac.jp/campus/data/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京電子専門学校
設置者名	学校法人電波学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校HPにて公開： https://www.tokyo-ec.ac.jp/campus/data/
収支計算書又は損益計算書	学校HPにて公開： https://www.tokyo-ec.ac.jp/campus/data/
財産目録	学校HPにて公開： https://www.tokyo-ec.ac.jp/campus/data/
事業報告書	学校HPにて公開： https://www.tokyo-ec.ac.jp/campus/data/
監事による監査報告（書）	学校HPにて公開： https://www.tokyo-ec.ac.jp/campus/data/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	情報処理科 システム運用コース	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,980 単位時間/ 115 単位	900 単位 時間/ 59.5 単位	0 単位 時間/0 単位	1,020 単 位時間/ 51.5 単位	0 単位 時間/0 単位	0 単位 時間/0 単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数 *1	生徒実員 *1	うち留学生数 *1	専任教員数 *1	兼任教員数 *1	総教員数 *1		
380 人	216 人	3 人	10 人	11 人	21 人		

*1 コース分けは1年後期からのため、「情報処理科」合計の情報を記載

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 （概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 （概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の4.を参照
学修支援等 （概要） 欠席が続くなど学修状況の変化がある場合はメール等で状況を確認し、場合によっては当該学生もしくは保護者を含め個別面談を行っている。

情報処理科システム運用コース

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23人 (100%)	2人 (8.7%)	17人 (73.9%)	4人 (17.4%)
（主な就職、業界等）IT業界、システムインテグレータ等			
（就職指導内容）担任、就職部による履歴書添削や面接指導。契約会社から派遣されているキャリアコンサルタント等による履歴書添削や面接指導。学内での合同企業説明会、個別企業説明会の実施。			
（主な学修成果（資格・検定等））基本情報技術者試験、ITパスポート試験、セキュリティマネジメント試験、ビジネス数学検定等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数 *2	年度の途中における退学者の数 *2	中退率 *2
201人	13人	6%
（中途退学の主な理由）経済的理由、家庭の事情、体調不良		
（中退防止・中退者支援のための取組）保護者との連携、個人面談、三者面談、電話・メール連絡、心理カウンセラーのカウンセリング、学費のための相談員配置、補講実施		

*2 コース分けは1年後期からのため、「情報処理科」合計の情報を記載

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	情報処理科 システム開発コース	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,950 単位時間/ 114.5 単位	990 単位 時間/66 単位	0 単位 時間/0 単位	930 時間 /46.5 単 位	0 単位 時間/0 単位	0 単位 時間/0 単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数 *1	生徒実員 *1	うち留学生数 *1	専任教員数 *1	兼任教員数 *1	総教員数 *1		
380 人	216 人	3 人	10 人	11 人	21 人		

*1 コース分けは1年後期からのため、「情報処理科」合計の情報を記載

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 欠席が続くなど学修状況の変化がある場合はメール等で状況を確認し、場合によっては当該学生もしくは保護者を含め個別面談を行っている。

情報処理科システム開発コース

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
60人 (100%)	1人 (1.7%)	45人 (75%)	14人 (23.3%)
（主な就職、業界等）IT業界、システムインテグレータ等			
（就職指導内容）担任、就職部による履歴書添削や面接指導。契約会社から派遣されているキャリアコンサルタント等による履歴書添削や面接指導。学内での合同企業説明会、個別企業説明会の実施。			
（主な学修成果（資格・検定等））基本情報技術者試験、ITパスポート試験、セキュリティマネジメント試験、ビジネス数学検定等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数 *2	年度の途中における退学者の数 *2	中退率 *2
201人	13人	6%
（中途退学の主な理由）経済的理由、家庭の事情、体調不良		
（中退防止・中退者支援のための取組）保護者との連携、個人面談、三者面談、電話・メール連絡、心理カウンセラーのカウンセリング、学費のための相談員配置、補講実施		

*2 コース分けは1年後期からのため、「情報処理科」合計の情報を記載

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	情報処理科3年制	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,730 単位時間/ 156.5 単位	1,230 単 位時間 /82 単位	0 単位 時間/0 単位	1,620 単位時間 /81 単位	0 単 位時 間/0 単位	0 単 位時 間/0 単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180 人		144 人	0 人	9 人	11 人	23 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 欠席が続くなど学修状況の変化がある場合はメール等で状況を確認し、場合によっては当該学生もしくは保護者を含め個別面談を行っている。

情報処理科3年制

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23人 (100%)	0人 (0%)	20人 (87%)	3人 (13%)
（主な就職、業界等）IT業界、システムインテグレータ等			
（就職指導内容）担任、就職部による履歴書添削や面接指導。契約会社から派遣されているキャリアコンサルタント等による履歴書添削や面接指導。学内での合同企業説明会、個別企業説明会の実施。			
（主な学修成果（資格・検定等））基本情報技術者試験、ITパスポート試験、セキュリティマネジメント試験、ビジネス数学検定等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
119人	6人	5%
（中途退学の主な理由）経済的理由、家庭の事情、体調不良		
（中退防止・中退者支援のための取組）保護者との連携、個人面談、三者面談、電話・メール連絡、心理カウンセラーのカウンセリング、学費のための相談員配置、補講実施		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ウェブ・メディア科 ゲームソフトコース	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,920 単位時間/ 109 単位	690 単位 時間/46 単位	0 単位 時間/0 単位	1,290 単 位時間/ 65 単位	0 単位 時間/0 単位	0 単位 時間/0 単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数 *	生徒実員 *1	うち留学生数 *1	専任教員数 *1	兼任教員数 *1	総教員数 *1		
190 人	60 人	0 人	5 人	9 人	14 人		

*1 コース分けは1年後期からのため、「ウェブ・メディア科」合計の情報を記載

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 欠席が続くなど学修状況の変化がある場合はメール等で状況を確認し、場合によっては当該学生もしくは保護者を含め個別面談を行っている。

ウェブ・メディア科ゲームソフトコース

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 (100%)	0人 (0%)	5人 (62.5%)	3人 (37.5%)
（主な就職、業界等）ウェブ制作会社、IT業界、システムインテグレータ等			
（就職指導内容）担任、就職部による履歴書添削や面接指導。契約会社から派遣されているキャリアコンサルタント等による履歴書添削や面接指導。学内での合同企業説明会、個別企業説明会の実施。			
（主な学修成果（資格・検定等））基本情報技術者試験、ITパスポート試験、Web検定、色彩検定等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
61人	2人	3%
（中途退学の主な理由）経済的理由、家庭の事情、体調不良		
（中退防止・中退者支援のための取組）保護者との連携、個人面談、三者面談、電話・メール連絡、心理カウンセラーのカウンセリング、学費のための相談員配置、補講実施		

*2 コース分けは1年後期からのため、「ウェブ・メディア科」合計の情報を記載

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ウェブ・メディア科 ウェブデザインコース	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,770 単位時間/ 101 単位	630 単位 時間/42 単位	0 単位 時間/0 単位	1,170 単 位時間 /59 単位	0 単位 時間/0 単位	0 単位 時間/0 単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数 *	生徒実員 *1	うち留学生数 *1	専任教員数 *1	兼任教員数 *1	総教員数 *1		
190 人	60 人	0 人	4 人	9 人	13 人		

*1 コース分けは1年後期からのため、「ウェブ・メディア科」合計の情報を記載

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 欠席が続くなど学修状況の変化がある場合はメール等で状況を確認し、場合によっては当該学生もしくは保護者を含め個別面談を行っている。

ウェブ・メディア科ウェブデザインコース

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 (100%)	0人 (0%)	5人 (31.3%)	11人 (68.7%)
（主な就職、業界等）ウェブ制作会社、映像制作会社、IT業界、システムインテグレータ等			
（就職指導内容）担任、就職部による履歴書添削や面接指導。契約会社から派遣されているキャリアコンサルタント等による履歴書添削や面接指導。学内での合同企業説明会、個別企業説明会の実施。			
（主な学修成果（資格・検定等））基本情報技術者試験、ITパスポート試験、Web検定、色彩検定等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数 *2	年度の途中における退学者の数 *2	中退率 *2
61人	2人	3%
（中途退学の主な理由）経済的理由、家庭の事情、体調不良		
（中退防止・中退者支援のための取組）保護者との連携、個人面談、三者面談、電話・メール連絡、心理カウンセラーのカウンセリング、学費のための相談員配置、補講実施		

*2 コース分けは1年後期からのため、「ウェブ・メディア科」合計の情報を記載

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	高度情報システム科	-	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	4,035 単位時間/ 231 単位	1,680 単 位時間 /112 単位	0 単位 時間/0 単位	2,280 単 位時間 /114 単 位	0 単位 時間 /0 単 位	0 単 位時 間/0 単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生 数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320 人		111 人	0 人	5 人	18 人	23 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 欠席が続くなど学修状況の変化がある場合はメール等で状況を確認し、場合によっては当該学生もしくは保護者を含め個別面談を行っている。

高度情報システム科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 (100%)	0人 (0%)	10人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等）IT業界、システムインテグレータ等			
（就職指導内容）担任、就職部による履歴書添削や面接指導。契約会社から派遣されているキャリアコンサルタント等による履歴書添削や面接指導。学内での合同企業説明会、個別企業説明会の実施。			
（主な学修成果（資格・検定等））応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、ITパスポート試験、セキュリティマネジメント試験、LPIC等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
99人	16人	16%
（中途退学の主な理由）経済的理由、家庭の事情、体調不良		
（中退防止・中退者支援のための取組）保護者との連携、個人面談、三者面談、電話・メール連絡、心理カウンセラーのカウンセリング、学費のための相談員配置、補講実施		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	セキュリティ・ネットワーク科	-	-	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
3年	昼	2,910 単位時間/ 170.5 単位	1,410 単 位時間 /94 単位	0 単位 時間/0 単位	1,320 単 位時間 /66 単位	0 単 位時 間/0 単位
			単位時間/単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120人		134人	0人	8人	15人	23人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 欠席が続くなど学修状況の変化がある場合はメール等で状況を確認し、場合によっては当該学生もしくは保護者を含め個別面談を行っている。

セキュリティ・ネットワーク科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 (100%)	0人 (0%)	16人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等）IT業界、システムインテグレータ等			
（就職指導内容）担任、就職部による履歴書添削や面接指導。契約会社から派遣されているキャリアコンサルタント等による履歴書添削や面接指導。学内での合同企業説明会、個別企業説明会の実施。			
（主な学修成果（資格・検定等））応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、ITパスポート試験、セキュリティマネジメント試験、LPIC等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
104人	7人	6%
（中途退学の主な理由）経済的理由、家庭の事情、体調不良		
（中退防止・中退者支援のための取組）保護者との連携、個人面談、三者面談、電話・メール連絡、心理カウンセラーのカウンセリング、学費のための相談員配置、補講実施		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	電子技術科	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,640 単位時間/ 142 単位	1,500 単 位時間 /100 単位	0 単位 時間/0 単位	1,110 単 位時間/ 37 単位	0 単位 時間/0 単位	0 単位 時間/0 単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
200人		53人	0人	4人	7人	11人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 欠席が続くなど学修状況の変化がある場合はメール等で状況を確認し、場合によっては当該学生もしくは保護者を含め個別面談を行っている。

電子技術科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100%)	0人 (0%)	16人 (84.2%)	3人 (15.8%)
（主な就職、業界等） 通信機器関係、無線機器関係、音響機器関係、医療機器関係			
（就職指導内容） キャリアコンサルタントを教師として、1年、2年を通して指導し、会社説明会や個人面接等を通して指導している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 第一種特殊無線技士、工事担任者（DD三種、A I・DD総合種、第二種電気工事士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
50人	6人	12%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、病気のため、家庭の事情		
（中退防止・中退者支援のための取組） 主に担任が、学生の状況を把握し、保護者と連絡を密に取るようにしている。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	電気工学科	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,085 単位時間/ 91 単位	1155/77 単位時間 /単位	180/6 単位時間 /単位	495/11 単位時間 /単位	225/5 単位時間 /単位	0/0 単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		76人	2人	2人	10人	12人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 欠席が続くなど学修状況の変化がある場合はメール等で状況を確認し、場合によっては当該学生もしくは保護者を含め個別面談を行っている。

電気工学科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31人 (100%)	0人 (0%)	30人 (96.8%)	1人 (3.2%)
（主な就職、業界等） 電気設備管理、電気工事、施工管理			
（就職指導内容） 就職指導部と担任が連携して指導している。個人面談、模擬面接、OBによる会社説明などきめ細かい指導を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 在学中にはほとんどの学生が第一種、第二種電気工事士国家試験合格。他に消防設備士（甲4、乙4、乙7）等の資格取得、在学中に第三種電気主任技術者国家試験合格者もいる。			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
78人	6人	8%
（中途退学の主な理由） 進路変更、体調不良、経済的理由等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任が出席状況を常に把握し、本人・保護者と連絡を密にしている。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	診療放射線学科	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2870 単位時間/123 単位	1940 時間 /102 単位	0 単位時 間/0 単位	930 時間 /21 単位	0 単位時 間/0 単位	0 単位時 間/0 単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
270 人		253 人	0 人	7 人	29 人	36 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 欠席が続くなど学修状況の変化がある場合はメール等で状況を確認し、場合によっては当該学生もしくは保護者を含め個別面談を行っている。

診療放射線学科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
62人 (100%)	0人 (0%)	42人 (67.7%)	20人 (32.3%)
（主な就職、業界等） 病院			
（就職指導内容）基本的に担任が履歴書添削や面接練習などを行っている。必要に応じて学科内や医療系教員も面接指導を行い学科全体で学生の就職指導を行っている。また就職指導部と連携を密にして、就職関連など多くの情報を共有し学生をサポートしている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 診療放射線技師、第1種放射線取扱主任者、第2種放射線取扱主任者			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
251人	10人	3.86%
（中途退学の主な理由） 成績不良、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組）中退を防止するため成績不良者に対しては、担任と学生の二者面談で勉強方法の改善などを話し合い、次いで保護者を交えた三者面談で現状と改善点について情報の共有をしている。 中退者支援の取組は本人の考え方などに耳を傾け、今後の方向性を決めるため一緒に考えるように心がけている。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	臨床検査学科	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
3年		2,460 単位時間/ 125 単位	1,605 単 位時間 /98 単位	0 時間/0 単位	795 単位 /23 単位	0 単位 時間/0 単位	0 単位 時間/0 単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人		194 人	0 人	8 人	19 人	27 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 欠席が続くなど学修状況の変化がある場合はメール等で状況を確認し、場合によっては当該学生もしくは保護者を含め個別面談を行っている。

臨床検査学科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
45 人 (100%)	1 人 (2.2%)	43 人 (95.6%)	1 人 (2.2%)
（主な就職、業界等） 大学病院 7%, 総合病院 29%, 検査センター 26%, クリニック 9%, 製造業 7%, 他 22%			
（就職指導内容） 就職指導部による履歴書の書き方、面談の模擬、検査センターの見学			
（主な学修成果（資格・検定等）） 臨床検査技師、上級・中級バイオ技術者認定、2級・3級心電図検定、危険物乙4等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
2020年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
192 人	18 人	9%
（中途退学の主な理由） 成績不良・進路変更・転科		
（中退防止・中退者支援のための取組） メンタルヘルス、保護者を含めた面談、学期毎成績送付（保護者）、転科の進め		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	臨床工学科	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
3年		2,565 単位時間/ 142 単位	1410 単位 時間 /92 単位	610 単位 時間 /20 単位	540 単位 時間/18 単位	0 単位 時間 /0 単位	0 単位時 間 0/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人		190 人	0 人	6 人	21 人	27 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 欠席が続くなど学修状況の変化がある場合はメール等で状況を確認し、場合によっては当該学生もしくは保護者を含め個別面談を行っている。

臨床工学科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
37人 (100%)	0人 (0%)	20人 (54.1%)	17人 (45.9%)
（主な就職、業界等）公立病院・大学病院・総合病院・診療所およびクリニック			
（就職指導内容）本人の希望を優先とし事前に履歴書の添削、面接要領の練習を実施 就職未定の学生には本人の希望に近い病院を紹介と先方病院への連絡の実施			
（主な学修成果（資格・検定等））第1種および第2種ME実力検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
173人	8人	4.6%
（中途退学の主な理由）成績不良・家庭の経済的理由		
（中退防止・中退者支援のための取組）成績不良者と出席率低迷者に対しその都度個別面談し注意喚起と意欲を増幅させるよう実施・本人の目的意思の確認・個別面談と3者面談の実施 他科への転科推奨		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
情報処理科	320,000 円	420,000 円	547,000 円	施設費・実験実習費
情報処理科 3 年制	350,000 円	420,000 円	547,000 円	施設費・実験実習費
ウェブ・メディア科	320,000 円	420,000 円	547,000 円	施設費・実験実習費
高度情報システム科	350,000 円	420,000 円	547,000 円	施設費・実験実習費
セキュリティ・ ネットワーク科	350,000 円	420,000 円	547,000 円	施設費・実験実習費
電子技術科	300,000 円	420,000 円	487,000 円	施設費・実験実習費
電気工学科	300,000 円	420,000 円	487,000 円	施設費・実験実習費
診療放射線学科	450,000 円	480,000 円	720,000 円	施設費・実験実習費
臨床検査学科	450,000 円	480,000 円	720,000 円	施設費・実験実習費
臨床工学科	450,000 円	480,000 円	720,000 円	施設費・実験実習費
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校HPにて公開： https://www.tokyo-ec.ac.jp/campus/data/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) ・学校関係者評価は、学校関係者と企業等の役員や職員などがお互いの理解を深めることを目的とする。・学校評価の基本は自己評価であるが、当然自己からの視点だけでは過不足が生ずる。それを解消するために、本校では広く企業等役員などの学校内部以外からの視点を取り入れ、より適切な学校作りを目指す。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
エーアイテクノロジー株式会社	2020 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日	企業等委員 本校卒業生
株式会社エスキャリア	2020 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日	企業等委員
公益社団法人 日本臨床工学技士会	2020 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日	企業等委員 本校卒業生
株式会社サンリツ	2020 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校HPにて公開： https://www.tokyo-ec.ac.jp/campus/data/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

学校HP : <https://www.tokyo-ec.ac.jp/>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。